



彩の国  
埼玉県

令和6年度

埼玉県公立高等学校入学者選抜  
学力検査結果について

埼玉県教育委員会



埼玉県マスコット「さいたまっち&コバトン」

# I 埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査結果について

## 1 調査の目的

令和6年度埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査（2月21日実施）の結果分析に基づいて、受検者の学力及び学習の状況について診断を行うとともに、特に誤答を分析することにより、学習指導上の問題点を発見し、県内の中学校及び高等学校等の学習指導の在り方についての資料を提供し、併せて今後の学力検査問題の作成についての参考資料を得ようとするものである。

## 2 調査の方法

令和6年度埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査を受検した全日制38,882名、定時制1,156名の計40,038名の答案の中から、系統別抽出法によって答案を抽出し標本とした。これらを基本答案として、各問に対する答案の内容を分析し、必要な数値を示して所見を加えた。

## 3 学力検査問題の出題の基本方針

- ① 中学校における平素の学習を重んじ、中学校学習指導要領に基づいて出題する。
- ② 基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題の出題に配慮する。
- ③ 各教科の目標に照らして、受検者の学力を十分に把握できるように、出題の内容及び出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めるよう配慮する。

## 4 各教科の出題方針

令和6年度学力検査における各教科の出題に当たって、次の点に配慮した。

### 【国語】

- ① 国語の基礎的・基本的な内容について、できるだけ広範囲にわたって出題し、国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるように努める。
- ② 文学的な文章と説明的な文章を理解する力をみるように努める。また、平易な古典を読む基本的な力をみるように努める。
- ③ 作文と言葉の特徴や使い方に関する事項についての問題を出題し、文章表現力や基礎的な言語能力をみるように努める。

### 【社会】

- ① 社会科の各分野（地理・歴史・公民）相互の関連を図り、基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題するように努める。
- ② 地理的分野では、日本や世界の地理的事象についての基礎的な知識及び相互関係の理解をみるように努める。
- ③ 歴史的分野では、時代の特色や推移の総合的把握及び因果関係の理解をみるように努める。
- ④ 公民的分野では、現代の社会的事象についての基礎的な知識及び現代社会の諸課題の解決に向けて考察、構想する能力をみるように努める。

### 【数学】

- ① 数学の基礎的な知識及び技能をみる問題について、広範囲にわたって出題するように努める。
- ② 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をみる問題を出題するように努める。
- ③ 「数と式」、「図形」、「関数」及び「データの活用」に関する内容について、総合的に活用する能力をみるように努める。

### 【理科】

- ① 「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」を柱とする各領域及び各学年の配分を考慮し、広範囲にわたって出題するように努める。
- ② 理科の基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題するように努める。
- ③ 自然を総合的に見て、科学的に探究しようとする態度を重視し、観察、実験などに関する問題や、日常生活や社会との関わりについての問題を出題するように努める。

### 【英語】

- ① 英語の基礎的な知識及び技能をみる問題について、コミュニケーション能力をみることを重視し、できるだけ広範囲にわたって出題するように努める。
- ② リスニングテストは、まとまりのある英語の話を聞いて、その概要や要点を聞き取る力をみることに重点を置く。
- ③ 平易な英語を理解する力や平易な英語で表現する力とともに、基本的な語、連語、慣用表現、文構造及び文法事項の習熟の程度をみるように配慮する。
- ④ ある程度の分量でまとまりのある英語の文章の概要や要点を読み取る力をみる問題を出題するように努める。

## 5 調査の概要

### (1) 母集団と標本数

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R6	母集団	40,038	40,038	29,903	40,038	29,903	10,135	10,135
	標 本	400	400	299	400	299	299	299
R5	母集団	40,604	40,604	30,257	40,604	30,257	10,347	10,347
	標 本	406	406	303	406	303	303	303

(注) 母集団・標本には定時制受検者を含む。

### (2) 標本の平均及び標準偏差

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R6	受検者平均点	57.3 (58.1)	64.7 (65.7)	50.5 (51.7)	50.8 (51.6)	52.4 (53.4)	50.2	54.8
	標本の平均	56.5	64.7	49.4	50.4	52.8	49.4	54.9
R5	受検者平均点	56.4 (57.1)	63.1 (64.1)	54.7 (55.8)	57.4 (58.2)	45.0 (45.8)	50.5	56.7
	標本の平均	57.2	62.8	55.0	58.4	45.2	50.9	56.5

(注) 学力検査問題の( )内は、全日制受検者のみの数字である。

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R6	標準偏差	19.49	22.31	18.96	20.90	22.49	13.44	12.17
R5	標準偏差	19.02	22.52	20.61	20.53	18.92	14.63	13.88

### (3) 令和6年度 学力検査問題の出題数

R6 学力検査問題		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	合 計
問題 数 別	大問数	5	6	4	5	5	25
	小問数	25	30	23	28	31	137
	選択肢によるもの	12(48.0%)	18(60.0%)	1(4.3%)	12(42.9%)	16(51.6%)	59(43.1%)
	記述によるもの	13(52.0%)	12(40.0%)	22(95.7%)	16(57.1%)	15(48.4%)	78(56.9%)
	用語・単語	6	6	18	8	4	42
	文章表現	7	6	3	6	11	33
	作 図	0	0	1	2	0	3
配 点	選択肢によるもの	42	52	4	40	45	183(36.6%)
	記述によるもの	58	48	96	60	55	317(63.4%)

R6 学校選択問題		数 学	英 語
問題 数 別	大問数	5	4
	小問数	20	31
	選択肢によるもの	1(5.0%)	15(48.4%)
	記述によるもの	19(95.0%)	16(51.6%)
	用語・単語	15	2
	文章表現	3	14
	作 図	1	0
配 点	選択肢によるもの	4	40
	記述によるもの	96	60

(4) 年度別学力検査の各教科の平均点と受検者数

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R6	平均点	58.1	65.7	51.7	51.6	53.4	50.2	54.8
	受検者数	40,038	40,038	29,903	40,038	29,903	10,135	10,135
R5	平均点	57.1	64.1	55.8	58.2	45.8	50.5	56.7
	受検者数	40,604	40,604	30,257	40,604	30,257	10,347	10,347
R4	平均点	62.9	52.9	48.0	52.5	52.6	42.6	58.3
	受検者数	39,805	39,805	29,331	39,805	29,331	10,474	10,474
R3	平均点	68.7	62.6	62.2	56.2	51.4	56.0	61.6
	受検者数	39,035	39,035	29,376	39,035	29,376	9,659	9,659
R2	平均点	57.2	55.4	67.9	51.1	52.2	55.2	58.9
	受検者数	41,206	41,206	31,796	41,206	31,796	9,410	9,410

(注) 各教科100点満点とし、各教科の平均点は全日制5教科受検者の得点より算出している。

(5) 教科別得点分布(全日制)





